

城北まちづくり通信

2021 / 10 / 8

21号

城北まちづくり協議会
事務局：城北地区公民

“シトラスリボン”をご存じでしょうか？



そうです。平井知事が記者会見の度に右胸につけているリボンです。この取り組みは、「シトラスリボンプロジェクト」といって、「ただいま」・「おかえり」と言い合えるような人の輪を大切に、地域づくりを目指したものです。

『誰もが笑顔で暮らせる人権意識の高い社会の実現』を願い、シトラス色のリボンを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動のシンボルとして全国に広まりました。

同時に、コロナ禍にあって医療従事者への感謝の気持ちを示すリボンとしても展開されてきました。(発祥は愛媛県の有志がはじめました。)

シトラスリボンでいっぱい地域なら、安心してコロナ検査を受けることができます。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。感染者が「出た」・「出ない」ということ自体よりも、感染が確認された“その後”に、的確な対応ができるかどうか、その地域の人権意識の高さを示します。

ところで、コロナ禍の“その後”を見すえ、人権意識の高い暮らしやすい城北地区を目指して、「JJS城北ジュニアサポーター」が呼びかけて、「城北婦人の会」とコラボして、シトラスリボン作り(9月26日)に取り組みました。

作成した“シトラスリボン”は、城北文化祭(10月30・31日)当日に、人権を大切にする心をのせて配布するそうです。(因みに、シトラス色は愛媛県特産の柑橘の色で、リボンの3つの輪は、地域と家庭と職場(学校)を表現しているそうです。)



まちづくり協議会 事業報告



開ハスコ
会た月テ
式に城ニ
活北四警
用文日に
化実用
祭施検
で討
し会
はまを



笑顔いっぱい、晴天のもとグランドゴルフ大会を9月25日に実施しました。



に団感
実検染
施診症
しまし
ました
九月
十六日

もマル
たどと
販秋に
売ひシ
されま
れま
した
。焼
き
ま
し
な



